【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年6月30日(2025.6.30)

【国際公開番号】WO2022/270545
【出願番号】特願2023-530096(P2023-530096)
【国際特許分類】
C08L 23/26(2025.01)
C08K 5/5415(2006.01)
C08K 5/544(2006.01)
C08F210/02(2006.01)
C03C 27/12(2006.01)
【FI】
C08L 23/26
C08K 5/5415
C08K 5/544
C08F210/02
C03C 27/12 F

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月20日(2025.6.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アイオノマー樹脂およびシランカップリング剤を含むアイオノマー樹脂組成物であり、
前記アイオノマー樹脂は、（メタ）アクリル酸単位（Ａ）、（メタ）アクリル酸中和物単位（Ｂ）およびエチレン単位（Ｃ）を含み、前記単位（Ａ）および前記単位（Ｂ）の合計含有量は、前記アイオノマー樹脂を構成する全単量体単位を基準として６～１０モル％であり、前記アイオノマー樹脂中の強酸および強塩基からなる塩の含有量は１～４００ｍｇ／ｋｇであり、
前記シランカップリング剤の含有量はアイオノマー樹脂１００質量部に対して０．００５～０．５質量部である、アイオノマー樹脂組成物。
【請求項２】
前記アイオノマー樹脂はさらに（メタ）アクリル酸エステル単位（Ｄ）を含み、前記単位（Ａ）、前記単位（Ｂ）および前記単位（Ｄ）の合計含有量は、前記アイオノマー樹脂を構成する全単量体単位を基準として６～１０モル％である、請求項１に記載のアイオノマー樹脂組成物。
【請求項３】
前記強酸および強塩基からなる塩は、アルカリ金属および／またはアルカリ土類金属の金属塩である、請求項１に記載のアイオノマー樹脂組成物。
【請求項４】
前記強酸および強塩基からなる塩は、ナトリウムイオンおよびカリウムイオンからなる群から選択される少なくとも１種のカチオンと、ハロゲンイオン、硝酸イオンおよび硫酸イオンからなる群から選択される少なくとも１種のアニオンとからなる塩である、請求項１に記載のアイオノマー樹脂組成物。
【請求項５】

前記シランカップリング剤は、アミノ系化合物、グリシドキシ系化合物、スルフィド系化合物、メルカプト系化合物、ビニル系化合物、ニトロ系化合物およびクロロ系化合物からなる群から選択される少なくとも１つのシランカップリング剤である、請求項１に記載のアイオノマー樹脂組成物。

【請求項６】

前記シランカップリング剤は、Ｎ－β－（アミノエチル）－γ－アミノプロピルメチルジメトキシシランおよび３－グリシドキシプロピルメチルジエトキシシランからなる群から選択される少なくとも１つのシランカップリング剤である、請求項１に記載のアイオノマー樹脂組成物。

【請求項７】

請求項１～６のいずれかに記載のアイオノマー樹脂組成物を含む層を１層以上含んでなる、樹脂シート。

【請求項８】

請求項７に記載の樹脂シートからなる合わせガラス中間膜。

【請求項９】

２つのガラス板と、該２つのガラス板の間に配置された請求項８に記載の合わせガラス中間膜とを有する、合わせガラス。